

身近にある“脱炭素”を学ぼう！

EV充電スタンド

このエリアには、EV充電スタンドが**9か所**あります！

年間あたり
 (※)電気自動車を再生可能エネルギーで充電して使った場合に削減



できるCO2排出量
 →**467kg/人**

出典：NAVITIME・ゼンリンEV充電スタンド地図を参考にプロット

太陽光発電設備

太陽光発電設備

2025年度を目途に
WISE Living Lab
 には、太陽光発電設備が完成します！



(参考)(※)太陽光パネル付きの住宅に住んだ場合に削減できるCO2排出量
 →**1,275kg/人**

地産地消

このエリアには、青葉区産の野菜等を買うことができる**2か所**あります！

年間あたり

(※)一部の野菜・果物を地産地消した場合に削減できるCO2排出量
 →**8kg/人**



出典：あおば花・緑・農めぐりマップを参考にプロット

シェアサイクル

このエリアには、シェアサイクルステーションが**19か所**あります！

年間あたり
 (※)通勤・通学のための都市部での自動車移動がバス・電車・自転車で置き換えられた場合に削減で



きるCO2排出量
 →**243kg/人**

出典：HELLO CYCLING HPを参考にプロット



WISE Living Lab

出典：国土地理院タイルを加工して作成
 ※環境省 ゼロカーボンアクション30

これまでの次世代郊外まちづくりの脱炭素の取組

次世代郊外まちづくり
WISE CITY

「家庭の節電プロジェクト」・「家庭の省エネプロジェクト」を開催@美しが丘1・2・3丁目

地域全体で節電・省エネ

各ご家庭で7～9月の電気使用量やガス使用量を簡易な方法で見える化することで、目標を持って節電や省エネに取り組んでもらうことができるプロジェクトを実施しました。

31 平成25年～26年



「田園都市からはじめるゼロカーボンフェスタ」を開催@スプラス青葉台

脱炭素社会の実現に向けた最初の一步

地産地消やフードロス等の「食」や、太陽電池などの「エネルギー」をテーマとした展示や講演会、子ども向けの楽しく学べるワークショップなど、企業や大学と連携した様々なプログラムを行いました。

31 令和4年2月11日(土)



青葉区主催 脱炭素普及啓発イベント

「脱炭素を楽しく学ぼう！」に出展

@たまプラーザ テラス プラザホール

身近なところから脱炭素を実感！

慶應義塾大学敵研究室と共に、美味しく健康的な環境に優しいレシピを考える体験型ワークショップや次世代郊外まちづくりの脱炭素に関する活動紹介などを行いました。

31 令和5年10月9日(月)



「ゼロカーボンセミナー たまプラ大学

特別講義」を開催@WISE Living Lab

2012年から8回にわたり開催した「たまプラ大学」が特別講義として復活！

慶應義塾大学敵教授による「田園都市の環境と脱炭素型の暮らしの可能性」と、桐蔭横浜大学池上教授による「脱炭素社会を目指すペロブスカイト太陽電池の社会実装への道のり」についてお話しいただきました。

31 令和5年12月3日(日)・8日(金)



※この他にも住民の皆様と共に多数の脱炭素の取組を進めてまいりました。